

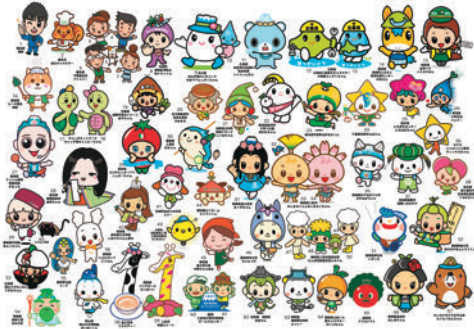


「工水くん」・「めぐみちゃん」は 今年で生誕10周年!

工業用水道キャラクターの「工水くん」と「めぐみちゃん」は、平成24年2月まで実施した公募により、道内外からの応募作品148点の中から選定されました。

生誕10周年を迎えて、作者の高柳順子さん(静岡県三島市在住)から、お祝いのメッセージをいただきました!

キャラクターデザイナーの高柳さんは、平成15年(2003年)から自治体や企業へのキャラクター応募に取り組み、選定作品数は累計で40点に達しています。



高柳順子さんからの お祝いメッセージ

この度は工水くんめぐみちゃん生誕10周年おめでとうございます。

工水くんとめぐみちゃんが誕生した時のことはとても覚えています。北海道の豊かな水をイメージして北海道の形としずくの形で考えました。

今回工水くんとめぐみちゃんの生誕10周年のお祝いのお話を頂いた時、本当に感激しました。10年前に里子に出した我が子が大きく成長して再会してくれたような感覚なのです。

これからも利用者さまのために、工業用水のアピールと普及のために、活躍をしてきてたうれしいです。静岡県から応援をしています!



高柳順子さん

「工水くん」・「めぐみちゃん」の作者にいろいろお聞きしました!

Q これまで多数のキャラクターを生み出されてきましたが、特に印象に残っている出来事などがあれば教えてください。

A 自分の住んでいる静岡県三島市のマスコットキャラクター みしまるくんとみしまるこちゃんです。工水くんとめぐみちゃんと同期の生まれで10歳になりました。三島市役所の担当の方たちと、10年間大切に育ててきました。

今では三島市内には、みしまるくんみしまるこちゃんがあふれ、市民認知度100%に近づいてきたのかなと実感しています。

キャラクターって本当に不思議です。空想上の存在ですが、愛情を持って育てていくとやがて生き生きと動き出し、人と人を繋ぎ、みんなに恩返しをしてくれる存在になるのです。



Q デザイナーとして、キャラクター以外ではどのような作品を手がけてこられたのでしょうか。

A 私はもともとグラフィックデザイナーで、ロゴマークデザイン、ポスターチラシ、パッケージデザインなどが専門でした。

キャラクターデザインは仕事の息抜き。あくまで趣味として取り組んでいました。そんなゆる〜く取り組んできたキャラクター活動ですが、ありがたいことに評価して頂ける機

会に恵まれ、静岡県から委託を受ける専門家として、昨年から静岡県の生産者様たちの6次産業化の推進のお手伝いをしています。

そこでは、みかん農家さん、レタス農家さんなど第一次産業の皆さまに対してロゴマークからパッケージデザイン、キャラクターまでお手伝いします。今まで積み上げてきた経験が一筋の漏れもなく全て役に立っていて、自分の経験が生かされる人のお役に立てた時、本当にうれしくやがたいを感じます。

デザイナーとは、アーティストとは違うお客様の困りごとに寄り添うお医者さまであり、問題を解決する設計者だと思って取り組んでいます。

Q 今後の創作活動に向けての抱負など、お聞かせいただけますか。

A ご当地キャラブームは落ち着いていますが、キャラクターを使ったブランディングはすっかり定着しました。イメージキャラクターは動く象徴であり、メッセージでエンターテイナー。生まれながらにして使命を背負っています。今や重要な販促ツールとしての地位を確立し、盛り上がりを見せています。

企業・商品・個人の「他との差別化をしたい。」「キャラクターを使ってわかりやすくかわいく覚えてもらいたい」とのご相談やご依頼も頂きます。

そんな時代に求められているイメージキャラクター。作者として出来る事は限られていますが、生み出した全ての子供たちに、周りの皆さんに愛され、そして活躍してもらいたいというのが願いですし、自分に出来る事があれば何でもしてあげたくります。

キャラクターを広く知ってもらうために、ここ数年は地元の小学校、中学校、高校や大学などで、【キャラクターとは何か】【キャラクターを



考えてみよう】というテーマで講師活動をしています。小学4年生から大学生まで年齢に幅があるため、授業内容は理解度に合わせて細かく分けて作ってあります。子供たちの反応や感想などがとても楽しくて、最大のご褒美です。

子供たちにキャラクターの事をもっともっと好きになって欲しいし、自分たちの所属意識向上や、消費者としてではなく創り出す側のクリエイターとして自己表現のバリエーションにもなる事に、気づいて欲しいと思うのです。

私が10年間キャラクター活動から学んだ「良いもの」を今度は私から周りの皆さまにお返しするという活動を大切にしていきたいと思っています。

